

約400本の手話や字幕のついたビデオを置いています。また、このビデオライブラリーは聞こえない方だけではなく、健聴者の方も利用ができるよう滋賀県立聴覚障害者センターが制作した聴覚障害や聴覚障害者に対する理解のためのビデオなども順次取りそろえ、貸出を行っています。

このビデオライブラリーは現在、草津市にある滋賀県立聴覚障害者センターの聴覚障害者ビデオライブラリーの一部を県北域に住む聴覚障害者の方々に気軽に利用できるよう移したもので、地元の聴覚障害者や関係者の要望のもと、湖北地域振興局のご協力により実現しました。

県北域に聴覚障害者ビデオライブラリーがオープン!!

滋賀県立
聴覚障害者センター
だより

第33号



発行日/平成16年7月30日
発行所/草津市大路2丁目11-33
TEL 077-561-6111
077-561-6133
FAX 077-561-6112
077-565-6101
E-mail: shigajou@eos.ocn.ne.jp



貸出は、登録さえしていただければ(無料)どなたでも利用できます。但し健聴者は借りられるものと借りられないものがあります。

湖北地域聴覚障害者ビデオライブラリー 湖北地域振興局地域健康福祉部内(長浜保健所)

〒526-0033

滋賀県長浜市平方町1152-2

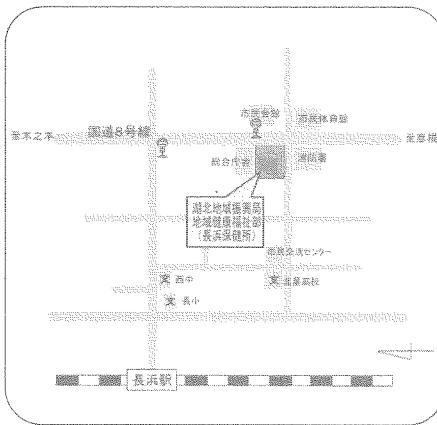
代表電話番号 0749-65-6660

FAX番号 0749-63-2989

アクセス

電車/JR長浜駅下車徒歩30分

バス/市民会館前下車すぐ



貸出利用日は毎週金曜日 午前九時から午後五時まで。但し、貸出のみあらかじめ振興局に連絡しておけば、七時まで開けておきます。
貸出本数は一回の貸出につき三本まで、貸出期間は一週間です。貸出料は無料です。積極的にご利用下さい。

湖南地域

災害情報を発信します

災害福祉ネットサービス

このほど、栗東市小柿にある湖南消防本部・南消防署の敷地内に災害管制センターが完成したのに伴って平成16年7月1日から災害情報を発信することになりました。

対象は湖南地域(草津・守山・栗東・中主・野洲)に住む高齢者や障害者の方です。

情報伝達には、前もって消防本部に氏名・住所を登録する必要があります。登録者の情報は、火災発生時・緊急要請時に消防隊・救急隊が事前に把握しているので安心して救援を受けることができます。

また、自宅近くで災害が発生した場合(登録者宅のおおむね50メートル範囲内で災害が発生した場合)は、電話やFAX、メールなどで災害発生情報を提供します。

●問い合わせ 〒520-3024 栗東市小柿3丁目1番1号 湖南広域行政組合消防本部 災害管制センター

TEL 077-522-8119 FAX 077-522-5050

<http://www.konan-lakebiwa.or.jp/syoubou/saigaifukusi/annai.html>

平成十六年度全国聴覚障害者 情報提供施設協議会総会が開催

台風6号が九州の南部を通過した2日後の6月24日から25日にかけて別府市において、平成16年度の全国聴覚障害者情報提供施設協議会の総会が開催されました。

第一日目は、協議会の総会が行われ次の議案が審議され、いずれも可決されました。

- 一 新規入会施設として、十六年四月一日オープンした埼玉県聴覚障害者情報センターが入会を承認されました。
- 二 十五年度事業報告および決算報告が事務局(京都、滋賀)から報告され承認された。
- 三 十六年度事業計画および予算案が事務局(京都、滋賀)から報告され承認された。
- 四 この協議会をNPO法人化するのことに、その目的、設立当初の役員、定款、設立当初の財産目録、設立初年度および翌年度の事業計画並びに予算案が説明され、いずれも意義なく可決された。なお、設立代表者には、京都市の保住 進氏が選ばれました。

このNPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会は、今後、聴覚障害者や関係者を対象に聴覚障害者福祉に携わる人材の育成、CS放送やインターネットを活用した情報提供、聴覚障害者福祉の提言を行うなど不特定多数の利益の増進に寄与する事を目的としています。

事業としては、当面(一)福祉情報発信事業、(二)講習会の開催、(三)

福祉計画策定に係る支援や提言(四)福祉のネットワークを推進するための連絡、助言、援助の活動の事業を予定しています。

第二日は、情報提供施設のあり方検討会の中間報告をめぐってのシンポジウムが開催されました。

平成2年の身体障害者福祉法の改正当時は、ビデオライブラリーがその主目的であったが、情報メディアの進歩に伴いその役割は、ほぼ終わったと言っ

聴覚障害者情報提供施設のあり方検討会 中間報告

全国聴覚障害者情報提供施設協議会(以下「全聴情協」)はこのほど、「聴覚障害者情報提供施設のあり方検討会」中間報告を発表され、全国から注目を集めています。これは、2年前に全日本ろうあ連盟が社会福祉・医療事業団の助成を受けて実施した「聴覚障害者への情報提供に関するニーズ調査」をもとに、今後の聴覚障害者情報提供施設の運営や事業等の在り方について全都道府県での整備を促進するための指針をまとめたことを目的に、昨春から1年間、全聴情協において検討会を設置して検討がすすめられてきたものです。検討会メンバーのうち、当センターから辻所長が就任、石野主任は同会事務局として関わりをもちました。

災害緊急時に対応するため、ネットワーク化が必要である。コミュニケーション支援事業は、聴覚障害者のニーズに応えたコミュニケーション支援でなければならぬ。また、相談事業は、実質ケースワークなので専門の職員が必要であり、ケースのスーパーバイズも必要となっている。また、中途失聴難聴者対策も充実する必要がある。

助言者の厚労省田村課長補佐からは、障害者福祉の推進と支援費制度の関係として、施設の機能の役割の評価が求められていること。地方分権と財政負担のありかたでは、三位一体改革の推進が今後進められること。盲ろうの養成派遣は、どこが担うのか検討していきたいとの発言がなされました。来年の第13回総会は香川県で行われることが決定されました。

検討会では、聴覚障害者情報提供施設を「県および政令指定都市レベルにおける聴覚障害者の社会参加を統合的に推進する中核拠点」として位置づけられ、施設が担うべき業務として次のように事業をまとめました。

- ①聴覚障害者情報ネットワーク事業
 - ②手話通訳者養成・認定事業
 - ③手話通訳者研修・派遣事業
 - ④ろうあ者相談事業
 - ⑤要約筆記者養成・認定・派遣事業
 - ⑥中途失聴・難聴者相談事業
 - ⑦生活訓練事業
 - ⑧交流事業
 - ⑨聴覚障害者関係団体活動連携・支援事業
- これらの中核拠点事業について今後の課題と方向性が具体的に示されています。

登録手話通訳者研修会を開催しました

6月5日(土)午後から聴覚障害者センターに於いて、3名の講師がそれぞれの生い立ちや体験談をコーディネーターを交えてお話しをして頂きました。家族(健聴者)とのコミュニケーションの方法・就労・子育て・ろう学校での生活・手話サークルへの参加・手話通訳制度等多岐にわたる、個々の魅力たっぷりの手話で表現で発表されました。参加者からは、「表現された『手話』の意味を読み取り理解することが大切」「偏見や差別の中で力強く生きて来られた姿に感動した」「もっと話しが聞きたかった」という感想が多数ありました。今回の研修会のテーマでもある「聞こえない人の暮らしからよりよい手話通訳を考える」事の意義を再認識できた研修会となりました。

コーディネーター
中西久美子氏



パネラー 竹村吉治氏 中川詠子氏 藤居由妃氏

平成16年度 養成・相談等事業予定

	事業名	受講対象者	講座数	定員	開催期間等
手話	手話奉仕員養成講座・入門	手話学習経験のない者 又は手話サークル等での経験 概ね1年未満の者	15回	40人	11/10~3/9(水曜日) 13:30~16:30
	手話奉仕員養成講座・基礎	手話学習歴が2年程あり 簡単な手話が理解できる	20回	40人	6/2~9/29<開講中(受付終了)>
	手話通訳者養成講座・基本	手話学習歴が概ね3年以上	24回	20人	9/6~3/28(月曜日) 19:00~21:00
	手話通訳者養成講座・応用	平成15年度基本課程修了者	23回	継続者	4/8~9/30<開講中>13:30~15:30
	手話通訳者養成講座・実践	平成16年度応用課程修了者	12回	継続者	10/7~11/25(木曜日) 19:00~21:00
	手話通訳士養成講座	手話通訳経験3年以上	10回	10人	7/30~11/19(金曜日) 14:00~17:00 受付は7/15まで
	手話指導者養成講座	法人登録講師	10回		7/3~12/1(土・水曜日) <受付終了> 基本・講座・啓発コースあり
	認定試験(手話協力員)	手話活動経験が概ね2年以上	-	-	12月4日(土)
〃(手話通訳認定者)	手話協力員	-	-	2月6日(日)	
要約筆記	要約筆記養成講座基礎課程 手書きコース パソコンコース	学習経験のない18歳以上 共通科目履修者 共通科目履修者	共通5回 5回 5回	40人	6/26~8/8(土) <受付終了> 9/11~9月末9/3~10月中旬
	要約筆記養成講座応用課程 手書きコース パソコンコース	基礎課程修了者 共通・手書き修了者 共通・パソコン修了者	共通1回 5回 6回	継続者 継続者	11月14日(日) 11/20~1月末 11/12~1月末
	要約筆記指導マネジメント講座	講師をめざす聴障者・登録 要約筆記者	7回	30人	4/18~12/5(火・土・日)
その他	盲ろう者通訳介助者養成講座	県内在住または在勤で 18歳以上	9回	20人	7/13~11/2(火) 10:00~16:00 <受付終了>
	日曜教室事業	県内聴覚障害者	センター2回 ろう協3回 難協2回		第1回 7/24(土) 米原町 第2回 9/25(土) 湖西地区
	IT講習会	日本語入力ができる 聴覚障害者	随時	個別	予約制
	聞こえの相談(聴力相談)	聴力に不安をもつ難聴の方	年12回	個別	予約制 7/26、8/23、9/25、10/25 11/22、12/4、1/24、2/28、3/12
	社会的自立を考えるセミナー	聴障者団体・関係団体他個人			11/7(土) 予定
センター外	障害者ホームヘルパー 養成研修講座	障害者ホームヘルプサービス 業務に従事している方や従事 者を希望する方	152H	35人	7/2~11/5(火・水・木・金) 予定 県立男女共同参画センター 龍谷大学

センターだより

今年、4年に1度のオリンピックイヤー。5大陸を駆けめぐる聖火リレーもスタートした。アテネで旗手をする浜中京子さんは「夢と感動、勇気と元気を贈りたい」と話した。数年前のオリンピックシーンを見ては感動し、選手達にエールを送っていた。そして娘は、小学校時代「岩崎恭子のようなオリンピック選手」に夢見た。夢も感動も国が平和ということだろう。戦渦の中の子ども達が、夢を見られる日が1日も早く来ることを願う。

(H・Y)